

対象校No.

注4

学校コード F128310108883

注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 学部の設置

注1

**届出**

注2

武庫川女子大学 環境共生学部

**【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書**  
(改正後大学設置基準適用)

学校法人武庫川学院  
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 企画部経営企画課

職名・氏名

電話番号 0798-45-3512

(夜間) 0798-45-3512

e-mail hozin@mukogawa-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。  
2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

# 目次

## 環境共生学部

＜環境共生学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教育研究実施組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	34

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人武庫川学院

## (2) 大学名

武庫川女子大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒663-8179

兵庫県西宮市甲子園九番町11-68

(〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46)

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オオカワラ リョウ) 大河原 量 (平成13年9月)		
学長	(タカハシ キョウコ) 高橋 享子 (令和7年4月)		
学部長	(アオノ ミツコ) 青野 光子 (令和7年4月)		
学科長等	(キマチ テツタロウ) 来海 徹太郎 (令和7年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
  - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
  - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
  - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
環境共生学部 環境共生学科 学士(環境共生学)	工学関係	4年	120人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	480人	-	

- (注) 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
  - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期														
A 入学定員	人 ( ) [ ]	120 ( ) [ ]	-													
志願者数	( ) [ ]	304 ( ) [ ]	春季入学以外の 入学時期と 入学定員内訳													
受験者数	( ) [ ]	207 ( ) [ ]		0.25倍												
合格者数	( ) [ ]	141 ( ) [ ]														
B 入学者数	( ) [ ]	31 ( ) [ ]														
入学定員超過率 B/A	-		-		-		-		-		-	0.25				

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
  - ・( )内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(( ))書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・転入学生は記入しないでください。
  - ・[ ]内には、**留学生の状況について内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
  - ・「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
  - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る届出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
  - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期											
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ [ ]内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学生数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	31 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	- 人	- 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{31} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<環境共生学部 環境共生学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置				の専任教員が担当する科目数
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
人文科学科目	神話・伝説の世界から	1前・後		2							1
	平安朝文学の世界	1前		2							1
	日常生活からの哲学入門	1前・後		2							1
	現代フランスの音楽事情	1前・後		2							1
	ミュージカル歌唱法	1前・後		1							1
	音楽の科学	1前・後		2							1
	フランスの音楽と芸術文化	1前・後		2							1
	自己発見アート	1前・後		1							1
	未来造形	1前・後		1							1
	歌舞伎鑑賞入門	1後		2							1
	日本の文化Ⅰ	1前		2							1
	日本の文化Ⅱ	1後		2							1
	遊びの人類学	1後		2							1
	SNSから日本語を見る	1前・後		2							1
	英語圏の文学・文化	1前・後		2							1
	ヨーロッパの名歌歌唱法	1前・後		1							2
	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	1前・後		1							1
	日本語の世界	1前・後		2							1
小計(18科目)				0	31	0	0	0	0	0	14
社会科学科目	生涯福祉論	1前・後		2							1
	社会福祉とボランティア	1前・後		2							1
	福祉レクリエーションの実践	1後		2							1
	子育てと家族関係	1前		2							1
	子育てと母性の気づき	1前		2							1
	現代社会と憲法	1前・後		2							1
	教養としての法律	1前		2							1
	暮らしと法律	1後		2							1
	女性と子どものヘルスケア	1後		2							5
	消費者生活論	1前		2							1
	英語で学ぶやさしい経済学	1前		2							1
	英語で学ぶお金の知識	1後		2							1
	メディア技術と文字デザイン	1前		2							1
	現代の教育・保育事情	1前・後		2							4
カウンセリングの実践	1前		2							1	
実践カウンセリング	1後		2							1	
建築と社会	1前		2							1	
小計(17科目)				0	34	0	0	0	0	0	19
自然科学科目	生命科学入門	1前		2		1					1
	生活の中の物理学	1後		2							1
	最先端物理学が描く宇宙	1後		2							1
	薬の歴史と未来	1後		2		1					1
	薬とからだ	1後		2							2
	色彩情報	1前		2							1
	科学から考える衣服と生活	1前		2							1
	健康生活とライフステージ	1前		2							1
小計(8科目)				0	16	0	2	0	0	0	7
国際理解科目	韓国文化の理解	1前・後		2							1
	中国文化論	1前・後		2							1
	世界の中の日本人	1前		2							1
	音楽から見る人と世界	1後		2							1
	International Perspectives I	1前		2							1
	International Perspectives II	1後		2							1
小計(6科目)				0	12	0	0	0	0	0	5

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置				の専任教員が担当する科目数
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
人文科学科目	神話・伝説の世界から	1前・後		2							1
	平安朝文学の世界	1前		2							1
	日常生活からの哲学入門	1前・後		2							1
	現代フランスの音楽事情	1前・後		2							1
	ミュージカル歌唱法	1前・後		1							1
	音楽の科学	1前・後		2							1
	フランスの音楽と芸術文化	1前・後		2							1
	自己発見アート	1前・後		1							1
	未来造形	1前・後		1							1
	歌舞伎鑑賞入門	1後		2							1
	遊びの人類学	1後		2							1
	SNSから日本語を見る	1前・後		2							1
	英語圏の文学・文化	1前・後		2							1
	ヨーロッパの名歌歌唱法	1前・後		1							2
	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	1前・後		1							1
	日本語の世界	1前・後		2							1
	芭蕉をめぐる人々	1前		2							1
	両月物語に込められた情念	1前		2							1
芭蕉と旅	1後		2							1	
「心中天網島」の女房「おさん」	1後		2							1	
日本史の中の女性たち	1前・後		2							2	
日本の画像文化論	1前・後		2							2	
歴史文化トピックスⅠ	1前		2							3	
歴史文化トピックスⅡ	1後		2							3	
合唱表現	1後		1							1	
先陣芸術表現	1前・後		1							1	
アートの見方・表し方	1前・後		1							1	
建築と歴史	1前		2							1	
日本語の歴史	1前・後		2							1	
心理学入門	1前・後		2							1	
小計(30科目)				0	52	0	0	0	0	0	27
社会科学科目	生涯福祉論	1前・後		2							1
	社会福祉とボランティア	1前・後		2							1
	福祉レクリエーションの実践	1後		2							1
	子育てと家族関係	1前		2							1
	子育てと母性の気づき	1前		2							1
	現代社会と憲法	1前・後		2							1
	消費者生活論	1前		2							1
	英語で学ぶやさしい経済学	1前		2							1
	メディア技術と文字デザイン	1前		2							1
	現代の教育・保育事情	1前・後		2							4
	カウンセリングの実践	1前		2							1
	実践カウンセリング	1後		2							1
	建築と社会	1前		2							1
	視覚障害者の理解と手話言語	1前・後		2							1
まちづくりと地方自治の役割	1後		2							1	
公共政策トピックス	1前		2							1	
税と社会保障の基礎知識	1前・後		2							1	
小計(17科目)				0	34	0	0	0	0	0	15
自然科学科目	生命科学入門	1前		2		1					1
	生活の中の物理学	1後		2							1
	最先端物理学が描く宇宙	1後		2							1
	薬の歴史と未来	1後		2		1					1
	薬とからだ	1後		2							2
	色彩情報	1前		2							1
	健康生活とライフステージ	1前		2							1
	生活習慣と心と身体の科学	1前		2							1
身近にある科学	1後		2							1	
発達障害の理解とリエゾン支援	1後		2							1	
小計(10科目)				0	20	0	2	0	0	0	8
国際理解科目	韓国文化の理解	1前・後		2							1
	中国文化論	1前・後		2							1
	音楽から見る人と世界	1後		2							1
	International Perspectives I	1前		2							1
	International Perspectives II	1後		2							1
	韓流ブームから考える韓国文化	1前		2							1
言語習得と異文化理解	1前		2							1	
小計(7科目)				0	14	0	0	0	0	0	5

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主授業科目	単位数				基幹教員等の配置				の 他 教 員 の 配 置 数 （ 一 人 以 上 ）	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共通教育科目	基礎教養科目群	現代のためのマーケティング	1前・後		2								1
		Current Affairs in Japan I	1前		2								1
		Current Affairs in Japan II	1後		2								1
		心理学トピックス	1後		2								1
		現代社会と保健医療	1後		2								1
		社会福祉の学び	1後		2								1
	スポーツツーリズムと地域創生	1後		2								1	
	小計(7科目)	—	—	0	14	0	0	0	0	0	0	0	6
	ジェンダー科目群	セクシュアリティ入門Ⅰ	1前・後		2								1
		セクシュアリティ入門Ⅱ	1前・後		2								1
		女性の身体とセクシュアリティ	1前・後		2								1
		メディアに見るジェンダー	1前・後		2								1
		女性と教育	1前・後		2								1
		ジェンダーとアイデンティティ	1前・後		2								1
	小計(7科目)	—	—	0	14	0	0	0	0	0	0	0	3
	キャリアデザイン科目群	女性のためのライフプランニング	1前・後		2								1
		自己アピールトレーニング	1前・後		2								1
		キャリアビジョンと人物評価	1後		2								1
		ビジネスプラン構築概論	1後		2								1
小計(4科目)		—	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	4
言語・情報科目群		英語コミュニケーションⅠ	1前・後		2								1
	英語コミュニケーションⅡ	1前・後		2								1	
	英語リーディングⅠ	1前・後		1								1	
	英語リーディングⅡ	1前・後		1							2	1	
	英語ライティングⅠ	1前・後		1							2	1	
	英語ライティングⅡ	1前		1							1	1	
	TOEIC演習Ⅰ	1前・後		1								1	
	TOEIC演習Ⅱ	1前・後		1								1	
	TOEIC演習Ⅲ	1前・後		1								1	
	Basics for PresentationⅠ	2前		1								1	
	Basics for PresentationⅡ	2後		1								1	
	Speaking & ListeningⅠ	2前		1								1	
	Speaking & ListeningⅡ	2後		1								1	
	Speaking & ListeningⅢ	3前		1								1	
	Presentation	3後		1								1	
	WritingⅠ	3前		1								1	
	WritingⅡ	3後		1								1	
	English for Careers	3前		1								1	
	Reading & Discussion	3後		1								1	
	Global IssuesⅠ	4前		1								1	
	Global IssuesⅡ	4後		1								1	
	Current Events	4前		1								1	
	Reading & Critical Thinking	4前		1								1	
	Career Workshop	4後		1								1	
	ドイツ語Ⅰ	1前・後		2								2	
	ドイツ語Ⅱ	1後		1								1	
	フランス語Ⅰ	1前・後		2								2	
	フランス語Ⅱ	1後		1								1	
	フランス語ⅠA	1前		1								1	
	フランス語ⅠB	1後		1								1	
	中国語Ⅰ	1前・後		2								4	
	中国語Ⅱ	1前・後		2								3	
イタリア語ⅠA	1前・後		1								1		
イタリア語ⅠB	1前・後		1								1		
スペイン語Ⅰ	1前・後		2								2		
ハンガールⅠ	1前・後		2								3		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主授業科目	単位数				基幹教員等の配置				の 他 教 員 の 配 置 数 （ 一 人 以 上 ）	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共通教育科目	基礎教養科目群	現代トピックス	1後										1
		心理学トピックス	1後		2								1
		現代社会と保健医療	1後		2								1
		社会福祉の学び	1後		2								1
		スポーツツーリズムと地域創生	1後		2								1
		大学生生活入門	1前・後		2								1
	小計(6科目)	—	—	0	10	0	0	0	0	0	0	0	5
	ジェンダー科目群	セクシュアリティ入門Ⅰ	1前・後		2								1
		セクシュアリティ入門Ⅱ	1前・後		2								1
		女性と教育	1前・後		2								1
		ジェンダーとアイデンティティ	1前・後		2								1
		ジェンダーと社会	1前・後		2								1
		小計(5科目)	—	—	0	10	0	0	0	0	0	0	0
	キャリアデザイン科目群	女性のためのライフプランニング	1前・後		2								1
		キャリアビジョンと人物評価	1前・後		2								1
		ビジネスプラン構築概論	1後		2								1
		教員から見た社会人基礎力 仕事力を考える	1前・後		2								1
		企業の見方	1前		2								1
		卒業生が語る仕事と人生	1前・後		2								1
プレゼンテーションの基礎		1前		2								1	
公務員の魅力		1前		2								1	
ベンチャー・ビジネス概論		1前		2								1	
就活に学ぶ		1前・後		2								1	
企業に学ぶSDGs		1前		2								1	
サステナビリティと地域		1後		2								1	
キャリア基礎概論		1後		2								1	
大学生のための文章表現入門	1前・後		2								1		
伝わるプレゼンテーション	1後		2								1		
SOAR 人生100年をきり拓く力	1前・後		2								2		
未来発見ゼミ 自己理解と社会Ⅰ	1前・後		2								1		
文章表現の第一歩	1前・後		2								1		
大学生のための文章表現(基礎)	1前・後		2								1		
大学生のための文章表現(実践)	1前・後		2								1		
チーム医療入門	1前		2								1		
小計(22科目)	—	—	0	44	0	0	0	0	0	0	0	13	
言語・情報科目群	英語コミュニケーションⅠ	1前・後		2								1	
	英語コミュニケーションⅡ	1前・後		2								1	
	英語リーディングⅠ	1前・後		1								1	
	英語リーディングⅡ	1前・後		1							2	1	
	英語ライティングⅠ	1前・後		1							2	1	
	英語ライティングⅡ	1前		1							1	1	
	TOEIC演習Ⅰ	1前・後		1								1	
	TOEIC演習Ⅱ	1前・後		1								1	
	TOEIC演習Ⅲ	1前・後		1								1	
	Basics for PresentationⅠ	2前		1								1	
	Basics for PresentationⅡ	2後		1								1	
	Speaking & ListeningⅠ	2前		1								1	
	Speaking & ListeningⅡ	2後		1								1	
	Speaking & ListeningⅢ	3前		1								1	
	Presentation	3後		1								1	
	WritingⅠ	3前		1								1	
	WritingⅡ	3後		1								1	
	English for Careers	3前		1								1	
	Reading & Discussion	3後		1								1	
	Global IssuesⅠ	4前		1								1	
	Global IssuesⅡ	4後		1								1	
	Current Events	4前		1								1	
Reading & Critical Thinking	4前		1								1		
Career Workshop	4後		1								1		
ドイツ語Ⅰ	1前・後		2								2		
ドイツ語Ⅱ	1後		1								1		
フランス語Ⅰ	1前・後		2								2		
フランス語Ⅱ	1後		1								1		
フランス語ⅠA	1前		1								1		
フランス語ⅠB	1後		1								1		
中国語Ⅰ	1前・後		2								4		
中国語Ⅱ	1前・後		2								3		
イタリア語ⅠA	1前・後		1								1		
イタリア語ⅠB	1前・後		1								1		
スペイン語Ⅰ	1前・後		2								2		
ハンガールⅠ	1前・後		2								3		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数				基幹教員等の配置				の専任教員数(1名以下)	
				必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	言語・情報科目群	ハングルⅡ	1前		2							1	
		特別英語演習Ⅰ	1前・後		4							1	
		特別英語演習Ⅱ	1前・後		4							1	
		特別中国語演習Ⅰ	1前		2							1	
		特別中国語演習Ⅱ	1前		2							1	
		特別ハングル演習Ⅰ	1前		4							1	
		特別ハングル演習Ⅱ	1前		4							1	
		English for Studying Abroad	1前・後		1								1
		Trends in Society	1前・後		1								1
		Successful English Discussion	1前・後		1								1
		Leadership Development	4後		1								1
		留学準備演習	1前・後		1								1
		スペイン語Ⅱ	1前・後		2								1
		ハングル検定演習	1後		1								1
		海外演習Ⅰ	1前		1								1
		海外演習Ⅱ	1前		2								1
		小計(52科目)	—	—	0	79	0	0	0	0	0	0	19
	情報リテラシー科目	Webデザイン基礎	1前・後		2							1	
		Webデザイン応用	1前・後		2							1	
		グラフィックデザイン基礎	1後		2							1	
		フォトタッチ基礎	1前		2							1	
		データサイエンスの基礎とExcel	1前・後		2							1	
		データサイエンスの応用とExcel	1前・後		2							1	
		データリテラシー・AIの基礎	1後	○	2							2	
		データサイエンスのためのPython	1前・後		2							1	
実用的ITリテラシー		1前・後		2							1		
小計(9科目)	—	—	2	16	0	0	0	0	0	0	4		
健康・スポーツ科目群	健康・スポーツ科目	生涯スポーツ論	1前		2							1	
		スポーツと現代社会	1前・後		2							1	
		知っておきたい応急処置	1前		2							1	
	小計(3科目)	—	—	0	6	0	0	0	0	0	0	3	
	スポーツ実技科目	スポーツ実技(テニス)	1前・後		1							1	
		スポーツ実技(ゴルフ)	1前・後		1							1	
		スポーツ実技(バレーボール)	1前・後		1							1	
		スポーツ実技(バドミントン)	1前・後		1							1	
		スポーツ実技(ジャズダンス)	1後		1							1	
		スポーツ実技(エアロビクス)	1前・後		1							1	
		スポーツ実技(スリムエアロ)	1前・後		1							1	
		スポーツ実技(水泳)	1後		1							1	
		スポーツ実技(軽スポーツ)	1前・後		1							1	
		スポーツ実技(ヨガ)	1前・後		1							1	
からだど気づきと姿勢法		1前・後		1							1		
スポーツ実技(スタイルジャズ)	1前・後		1							1			
スポーツ実技(ハンジーエクササイズ)	1前・後		1							1			
スポーツ実技(エアリアルワーク)	1前・後		1							1			
スポーツ実技(フットサル)	1前・後		1							1			
マッサージ実習	1後		1							1			
小計(16科目)	—	—	0	16	0	0	0	0	0	0	14		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数				基幹教員等の配置				の専任教員数(1名以下)	
				必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	言語・情報科目群	ハングルⅡ	1前		2							1	
		特別英語演習Ⅰ	1前・後		4							1	
		特別英語演習Ⅱ	1前・後		4							1	
		特別中国語演習Ⅰ	1前		2							1	
		特別中国語演習Ⅱ	1前		2							1	
		English for Studying Abroad	1前・後		1								1
		Trends in Society	1前・後		1								1
		Successful English Discussion	1前・後		1								1
		Leadership Development	4後		1								1
		留学準備演習	1前・後		1								1
		スペイン語Ⅱ	1前・後		2								1
		海外演習Ⅰ	1後		1								1
		海外演習Ⅱ	1後		2								1
		Reading & Structure I	2前		1								1
		Reading & Structure II	2後		1								1
		英語リーディングⅢ	1後		1								1
		小計(52科目)	—	—	0	73	0	0	0	0	0	0	24
	情報リテラシー科目	Webデザイン基礎	1前・後		2							1	
		Webデザイン応用	1前・後		2							1	
		グラフィックデザイン基礎	1後		2							1	
		フォトタッチ基礎	1前		2							1	
		データサイエンスの基礎とExcel	1前		2							1	
		データサイエンスの応用とExcel	1前		2							1	
		データリテラシー・AIの基礎	1後	○	2							2	
		データサイエンスのためのPython	1前・後		2							1	
実用的ITリテラシー		1前・後		2							1		
Accessデータベース基礎		1前・後		2							1		
情報社会を生きる技術		2後		2							1		
Soratholによるプログラミング		1前・後		2							1		
現代社会と情報	1前		2							1			
小計(12科目)	—	—	2	22	0	0	0	0	0	0	6		
健康・スポーツ科目群	健康・スポーツ科目	生涯スポーツ論	1前		2							1	
		スポーツと現代社会	1前・後		2							1	
		知っておきたい応急処置	1前		2							1	
	運動と健康の科学	1前・後		2							2		
	障がい者とパラスポーツ	1前・後		2							1		
	小計(5科目)	—	—	0	10	0	0	0	0	0	0	6	
スポーツ実技科目	スポーツ実技(ゴルフ)	1前・後		1							1		
	スポーツ実技(バレーボール)	1前・後		1							1		
	スポーツ実技(バドミントン)	1前・後		1							1		
	スポーツ実技(ジャズダンス)	1前・後		1							1		
	スポーツ実技(エアロビクス)	1前・後		1							1		
	スポーツ実技(スリムエアロ)	1前・後		1							1		
	スポーツ実技(水泳)	1後		1							1		
	スポーツ実技(軽スポーツ)	1前		1							1		
	スポーツ実技(ヨガ)	1前・後		1							1		
	からだど気づきと姿勢法	1前・後		1							1		
スポーツ実技(ハンジーエクササイズ)	1前・後		1							1			
スポーツ実技(エアリアルワーク)	1前・後		1							1			
スポーツ実技(フットサル)	1前・後		1							1			
マッサージ実習	1後		1							1			
スポーツ実技(パラスポーツ)	1前・後		2							1			
小計(16科目)	—	—	0	16	0	0	0	0	0	0	13		
ゼミ	大学 学び発見ゼミ	1前		2		1					0		
	小計(1科目)	—	—	0	2	0	1	0	0	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置				の専任教員(1名以上)	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
基礎科目	初期演習Ⅰ	1前	○	1			2	1				
	基礎化学	1前	○	2			1					
	基礎生物学	1前	○	2			2					
	基礎環境工学	1前	○	2			1					
	情報リテラシー	1前	○	2								2
	初期演習Ⅱ(環境共生学)	1後	○	1			2	1				
	生態学	1後			2		1					
	地球科学	1後			2		1					
	細胞生物学	1後			2		1					
	環境英語Ⅰ	2前	○	1			1					3
	分析化学	2前			2		1					
	環境微生物学	2前			2		1					
	高分子化学	2前			2		1					
	環境英語Ⅱ	2後	○	1			1					3
	植物生理学	2後			2		1					
	生命と地球環境	2後			1							1
	環境英語Ⅲ	3前	○	1			1					3
	環境英語Ⅳ	3後	○	1			1					3
	環境英語演習(留学プログラム)	3前			2		1					
	環境研究英語Ⅰ	4前	○	1			10	4	2			
	環境研究英語Ⅱ	4後	○	1			10	4	2			
小計(21科目)	—	—	—	16	17	0	10	4	2	0	0	6
問題・課題	環境共生学入門(学習設計)	1前	○	1			1					
	SDGs論	1前	○	2			1	1				
	環境問題概論	1前	○	2			2	1				
	フィールド・環境施設実習	1前	○	2			2	2	1		5	
小計(4科目)	—	—	—	7	0	0	4	3	1	0	5	0
体験・技術習得	エコソリズム実習	1通		1		1	1	1				
	基礎実験	1後	○	1.5		2	1				3	
	データ分析・統計学	1後	○	2			1					
	ラボローテーション実習Ⅰa	2前	○	1.5		6	2				8	
	ラボローテーション実習Ⅰb	2前	○	1.5		6	2				8	
	ラボローテーション実習Ⅱa	2後	○	1.5		4	2	2			8	
	ラボローテーション実習Ⅱb	2後	○	1.5		4	2	2			8	
	物理学実験	2後			1		1					
	地学実験	2後			1		1					
	環境技術実験	3後	○	1.5		4	1				5	
小計(10科目)	—	—	—	5	9	0	10	4	2	0	8	0
ソーシャルデザイン	環境経済学	1後		2			1					
	環境教育論	2後	○	2			1					
	環境政策論	2後	○	2			1					
	環境教育実践	3前		1			1				1	
	世界遺産学	3前		1								1
	NPO・NGO論	3前		2								1
	エコソリズム論	3前		1								1
小計(7科目)	—	—	—	0	11	0	1	1	1	0	1	3
環境管理技術	環境イメージング技術	2前	○	2		1						
	環境放射線工学	2前	○	2		1						
	防災技術Ⅰ	2後	○	2		1						
	環境アセスメント論	2前	○	2		1						1
	環境情報工学	2後	○	2		1						
	防災技術Ⅱ	3前	○	2		1						
	野生生物管理工学	3前	○	2		1						
	水質管理工学	3前	○	2		1						
	環境モニタリング	3後	○	2		1						
	毒性学	3後	○	2		1						
小計(10科目)	—	—	—	0	20	0	3	2	1	0	0	1
エネルギー・資源・化学物質	合成化学	1後		2		1						
	環境生物有機化学	2前	○	2		1						
	環境エネルギー概論	2前	○	2		1						
	バイオマスエネルギー学	2前	○	2		1						
	物理学と環境工学	2前	○	2		1						
	資源管理学	2後	○	2		1						
	機器分析学	2後	○	2		1						
	環境エネルギー技術	3前	○	2		1						
	グリーンケミストリー	3前	○	2		1						
	資源循環工学	3前	○	2		1						
	高機能材料工学	3後	○	2		1						
小計(11科目)	—	—	—	0	22	0	5	2	1	0	0	0
生物工学	生命情報科学	1後	○	2		1						
	バイオテクノロジーⅠ(分子生物学)	2前	○	2		1						
	環境レメディエーション工学	2前	○	2		1						
	環境・バイオ産業論	2後	○	2		1						1
	バイオテクノロジーⅡ(遺伝子工学)	2後	○	2		1						
	バイオテクノロジーⅢ(細胞工学)	2後	○	2		1						
	生態工学	3前	○	2		1						
	バイオマス利活用工学	3前	○	2		1						
小計(8科目)	—	—	—	0	16	0	4	1	1	0	0	0
プロジェクト	社会連携プロジェクトⅠ	1後	○	3		8	3	2			5	
	社会連携プロジェクトⅡ	2前	○	3		8	3	2			5	
	プロジェクトコミュニケーションⅠ	2後	○	3		1	1				1	
	プロジェクトコミュニケーションⅡ	3前	○	3		1	1				1	
	卒業研究・活動	4通	○	6		10	4	2			8	
小計(5科目)	—	—	—	18	0	0	10	4	2	0	8	0
合計(223科目)	—	—	—	48	341	0	10	4	2	0	8	103

卒業要件及び履修方法

4年以上在学し、共通教育科目、専門教育科目の2つの科目区分を通して124単位以上を修得すること。また、科目区分ごとに修得すべき最低単位数は共通教育科目で6単位以上、専門教育科目で108単位以上とする。また、外国語科目から合計8単位以上を含めて修得すること。なお、TOEICのスコアに応じて単位(2~8単位)を専門教育科目として認定する。(履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))  
 なお、専門教育科目のうち、ラボローテーション実習Ⅰaとラボローテーション実習Ⅰbから1科目、ラボローテーション実習Ⅱaとラボローテーション実習Ⅱbから1科目をそれぞれ選択必修とする。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置				の専任教員(1名以上)	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
基礎科目	初期演習Ⅰ	1前	○	1			1					
	基礎化学	1前	○	2			1					
	基礎生物学	1前	○	2			2					
	基礎環境工学	1前	○	2			1					
	情報リテラシー	1前	○	2								2
	初期演習Ⅱ(環境共生学)	1後	○	1			2	1				
	生態学	1後			2		1					
	地球科学	1後			2		1					
	細胞生物学	1後			2		1					
	環境英語Ⅰ	2前	○	1			1					3
	分析化学	2前			2		1					
	環境微生物学	2前			2		1					
	高分子化学	2前			2		1					
	環境英語Ⅱ	2後	○	1			1					3
	植物生理学	2後			2		1					
	生命と地球環境	2後			1							1
	環境英語Ⅲ	3前	○	1			1					3
	環境英語Ⅳ	3後	○	1			1					3
	環境英語演習(留学プログラム)	3前			2		1					
	環境研究英語Ⅰ	4前	○	1			10	4	2			
	環境研究英語Ⅱ	4後	○	1			10	4	2			
小計(21科目)	—	—	—	16	17	0	10	4	2	0	0	6
問題・課題	環境共生学入門(学習設計)	1前	○	1			1					
	SDGs論	1前	○	2			1	1				
	環境問題概論	1前	○	2			2	1				
	フィールド・環境施設実習	1前	○	2			2	2	1		5	
小計(4科目)	—	—	—	7	0	0	4	3	1	0	5	0
体験・技術習得	エコソリズム実習	1通		1		1	1	1				
	基礎実験	1後	○	2		2	1				3	
	データ分析・統計学	1後	○	2			1					
	ラボローテーション実習Ⅰa	2前	○	1.5		6	2				8	
	ラボローテーション実習Ⅰb	2前	○	1.5		6	2				8	
	ラボローテーション実習Ⅱa	2後	○	1.5		4	2	2			8	
	ラボローテーション実習Ⅱb	2後	○	1.5		4	2	2			8	
	物理学実験	2後			1		1					
	地学実験	2後			1		1					
	環境技術実験	3後	○	2		4	1				5	
小計(10科目)	—	—	—	5	9	0	10	4	2	0	8	0
ソーシャルデザイン	環境経済学	1後		2			1					
	環境教育論	2後	○	2			1					
	環境政策論	2後	○	2			1					
	環境教育実践	3前		1			1				1	
	世界遺産学	3前		1								1
	NPO・NGO論	3前		2								1
	エコソリズム論	3前		1								1
小計(7科目)	—	—	—	0	11	0	1	1	1	0	1	3
環境管理技術	環境イメージング技術	2前	○	2		1						
	環境放射線工学	2前	○	2		1						
	防災技術Ⅰ	2後	○	2		1						
	環境アセスメント論	2前	○	2		1						1
	環境情報工学	2後	○	2		1						
	防災技術Ⅱ	3前	○	2		1						
	野生生物管理工学	3前										

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
- ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任・兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
- ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、**「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合)」「専任教員」の数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合)は「専任教員以外の教員(助手を除く)」の数は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を**赤字**としてください。**  
(専任教員から基幹教員に変更したことをもって赤字とする必要はありません。)
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。  
その場合は、新旧カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。  
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。  
(例:記載順)【認可時又は届出時】→(令和7年度)(新)→(令和6年度)(新)→(令和5年度)→(令和4年度)→(令和7年度)(旧)→(令和6年度)(旧)

(1) ①-②授業科目表に関する変更内容

**【令和7年度】**

- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「芭蕉をめぐる人々」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「雨月物語に込められた情念」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「芭蕉と旅」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「心中天網島」の女房「おさん」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「日本史の中の女性たち」を追加し、「基幹教員以外の教員2」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「日本の画文化論」を追加し、「基幹教員以外の教員2」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「歴史文化トピックスⅠ」を追加し、「基幹教員以外の教員3」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「歴史文化トピックスⅡ」を追加し、「基幹教員以外の教員3」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「合唱表現」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「先端芸術表現」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「アートの見方・表し方」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「建築と歴史」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「日本語の歴史」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「心理学入門」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「視覚障害者の理解と手話言語」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「まちづくりと地方自治の役割」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「公共政策トピックス」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「税と社会保障の基礎知識」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「生活習慣と脳と心と身体の科学」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「身近にある科学」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「発達障害の理解とリエゾン支援」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「韓流ブームから考える韓国文化」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「言語習得と異文化理解」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「大学生生活入門」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「教員から見た社会人基礎力」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「仕事力を考える」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「企業の見方」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「卒業生が語る仕事と人生」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「プレゼンテーションの基礎」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「公務員の魅力」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「ベンチャービジネス概論」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「就活に学ぶ」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「企業に学ぶSDGs」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「サステナビリティと地域」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「キャリア基礎概論」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「大学生のための文章表現入門」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「伝わるプレゼンテーション」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「SOAR 人生100年をきり拓く力」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「未来発見ゼミ 自己理解と社会1」を追加し、「基幹教員以外の教員2」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「文章表現の第一歩」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「大学生のための文章表現(基礎)」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「大学生のための文章表現(応用)」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「チーム医療入門」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「Reading & Structure I」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「Reading & Structure II」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「英語リーディングⅢ」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「Accessデータベース基礎」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「情報社会を生きる技術」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「Scratchによるプログラミング」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「現代社会と情報」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「運動と健康の科学」を追加し、「基幹教員以外の教員2」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「障がい者とパラスポーツ」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技(パラスポーツ)」を追加し、「基幹教員以外の教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「大学 学び発見ゼミ」を追加し、「教授1」を配置。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより、「現代社会と憲法」の配当年次を、「1前・後」から「1後」に変更。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより、「キャリアビジョンと人物評価」の配当年次を、「1後」から「1前・後」に変更。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより、「英語ライティングⅡ」の配当年次を、「1前」から「1後」に変更。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより、「海外演習Ⅰ」の配当年次を、「1前」から「1後」に変更。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより、「海外演習Ⅱ」の配当年次を、「1前」から「1後」に変更。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより、「データサイエンスの基礎とExcel」の配当年次を、「1前・後」から「1前」に変更。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより、「スポーツ実技(ジャズダンス)」の配当年次を、「1後」から「1前・後」に変更。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより、「スポーツ実技(軽スポーツ)」の配当年次を、「1前・後」から「1前」に変更。
- ・ 「初期演習Ⅰ」の教員配置について「教授2」「准教授1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・ 「初期演習Ⅱ(環境共生学)」について「教授2」「准教授1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・ 「フィールド・環境施設実習」の教員配置について「教授2」「准教授2」「講師1」「助手5」から「教授3」「准教授3」「講師1」「助手5」に変更。

- (注) 2.(1) ①-①授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。  
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合(例:「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更)や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合(例:「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更)については、記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
25 科目	198 科目	0 科目	223 科目	25 科目 [ 0 ]	232 科目 [ 34 ]	0 科目 [ 0 ]	257 科目 [ 34 ]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	日本の文化 I	2	1前	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
2	日本の文化 I	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
3	教養としての法律	2	1前	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
4	暮らしと法律	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
5	女性と子どものヘルスケア	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
6	英語で学ぶお金の知識	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
7	科学から考える衣服と生活	2	1前	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
8	世界の中の日本人	2	1前	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
9	女性のためのマーケティング	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
10	Current Affairs in Japan I	2	1前	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
11	Current Affairs in Japan II	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
12	女性の身体とセクシュアリティ	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
13	メディアに見るジェンダー	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
14	自己アピールトレーニング	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
15	特別ハンゲル演習 I	4	1前	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
16	特別ハンゲル演習 II	4	1後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
17	データサイエンスの応用とExoel	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
18	スポーツ実技 (テニス)	1	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
19	スポーツ実技 (スタイルジャズ)	1	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【所見】廃止科目はすべて「共通教育科目」の科目である。共通教育科目は全学部の学生が自由に選択でき、現代社会で通用する教養を養うことを目的に毎年度開講科目の見直しを行っており、廃止はその結果である。一方、同分野の内容を含む科目を多数新たに開講しており、教育に支障はないと判断している。また、併設短期大学において開講している同内容の科目についても受講が可能である。

【学生への周知方法】学生向けに共通教育専用サイトを開設し、共通教育の目的、科目構成等について周知を図っている。

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{22}{223} = \boxed{9.86} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	武庫川女子大学短期大 学部と共用			
		68,373.48㎡	173,882.70 <del>168,941.93</del> ㎡	0.00㎡	242,256.18 <del>237,315.41</del> ㎡				
	そ の 他	400.00㎡	10,640.27㎡	0.00㎡	11,040.27㎡				
		68,773.48㎡	184,522.97 <del>179,582.20</del> ㎡	0.00㎡	253,296.45 <del>248,355.68</del> ㎡				
(2) 校 舎	専 用	73,614.99 <del>73,414.99</del> ㎡	120,759.95 <del>119,601.86</del> ㎡	0.00㎡	194,374.97 <del>193,016.85</del> ㎡	武庫川女子大学短期大 学部と共用  環境共生教育研究棟、 研究所棟、実習棟、甲 子園会館、日下記念マ ルチメディア館学術研 究交流館用途変更 (7)			
	( 72,355.83 ) ( <del>72,155.83</del> ㎡)	( 120,759.98 ) ( <del>119,601.86</del> ㎡)	( 0.00㎡)	( 193,115.81 ) ( <del>191,757.69</del> ㎡)					
(3) 教室・教員研究室	教 室		827 829 室	教員研究室	16 室	室数変更 (7)			
(4) 図書・設備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		機械・器具 点	標本 点	大学全体  冊数変更 (7)	
		冊	電子図書 〔うち外国書〕	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				
	環境共生学部	693,678 [139,065] <del>(583,324 [103,041])</del>	13,729 [805] <del>(1,226 [385])</del>	36,113 [32,460] <del>(9,195 [1,797])</del>	36,113 [32,387] <del>(2,630 [2,504])</del>	14,522	131		
		(693,678 [139,065]) <del>(583,324 [103,041])</del>	(13,729 [805]) <del>(1,226 [385])</del>	(36,113 [32,460]) <del>(9,195 [1,797])</del>	(36,113 [32,387]) <del>(2,630 [2,504])</del>				
計	693,678 [139,065] <del>(583,324 [103,041])</del>	13,729 [805] <del>(1,226 [385])</del>	36,113 [32,460] <del>(9,195 [1,797])</del>	36,113 [32,387] <del>(2,630 [2,504])</del>	14,522	131			
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂		厚生補導施設				
	17,535.74㎡		6,630.10㎡		11,293.47 <del>11,274.47</del> ㎡				
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	学部全体 図書費には、電子 ジャーナル、デー タベースの整備費（運用 コスト含む）を含む
		教員 1 人当り研究費等	362千円	362千円	図書購入費	2,207千円	2,207千円	2,207千円	
	共同研究費等	5,555千円	5,555千円	設備購入費	600,000千円	600,000千円	100,000千円		
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1,428千円 <del>1,600千円</del>	1,632千円 <del>1,600千円</del>	1,632千円 <del>1,600千円</del>	1,632千円 <del>1,600千円</del>	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等							

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) 又は (その 1 の 3) に準じて作成してください。  
(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び  
「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。)
- ・「(4) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・校舎等建物の計画の変更 (校舎の総面積の減少、建築計画の遅延) がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・高等専門学校については「(3) 教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
  - ・国立大学については「(6) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	武庫川女子大学										収容定員充足率(7割以下の学科数)	3	収容定員充足率(1.15倍以上の学科数)	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
文学部	4	430	3年次50	1,660	-	0.83	-	-	昭和33	-				
日本語日本文学科	4	150	3年次25	650	学士(日本語日本文学)	0.98	-	-	昭和33	兵庫県西宮市池開町6番46号				
歴史文化学科	4	80	0	160	学士(歴史文化学)	0.95	-	-	令和6	同上				
英語グローバル学科	4	200	3年次25	850	学士(英語グローバル学)	0.70	-	-	昭和33	同上				
心理・社会福祉学科	4	-	-	-	学士(心理学又は社会福祉学)	-	-	-	平成12	同上	令和5年度入学生より学生募集停止			
教育学部	4	240	3年次25	1,025	-	1.03	1.02	-	平成31	-				
教育学科	4	240	3年次25	1,025	学士(教育学)	1.03	1.02	-	平成31	兵庫県西宮市池開町6番46号	令和7年度から3年次編入学定員変更(40→25)			
心理・社会福祉学部	4	220	0	660	-	1.06	-	-	令和5	-				
心理学科	4	150	0	450	学士(心理学)	1.05	-	-	令和5	兵庫県西宮市池開町6番46号				
社会福祉学科	4	70	0	210	学士(社会福祉学)	1.07	-	-	令和5	同上				
健康・スポーツ科学部	4	280	0	1,040	-	0.93	-	-	平成23	-				
健康・スポーツ科学科	4	180	0	740	学士(健康・スポーツ科学)	0.99	-	-	平成23	兵庫県西宮市池開町6番46号	令和7年度から3年次編入学学生募集停止			
スポーツマネジメント学科	4	100	0	300	学士(スポーツマネジメント学)	0.79	-	-	令和5	同上				
生活環境学部	4	195	3年次20	730	-	1.04	1.02	令和7	平成6	-				
生活環境学科	4	195	3年次20	730	学士(生活環境学)	1.04	1.02	令和7	平成6	兵庫県西宮市池開町6番46号	令和7年度から入学定員変更(165→195)			
食物栄養学科	4	-	-	-	学士(食物栄養学)	-	-	-	平成6	同上	令和2年度入学生より学生募集停止			
情報メディア学科	4	-	-	-	学士(情報メディア学)	-	-	-	平成6	同上	令和5年度入学生より学生募集停止			
社会情報学部	4	180	0	540	-	1.00	-	-	令和5	-				
社会情報学科	4	180	0	540	学士(社会情報学)	1.00	-	-	令和5	兵庫県西宮市池開町6番46号				
食物栄養科学部	4	280	3年次15	1,150	-	0.95	-	-	令和2	-				
食物栄養学科	4	200	3年次10	820	学士(食物栄養学)	0.99	-	-	令和2	兵庫県西宮市池開町6番46号				
食創造科学科	4	80	3年次5	330	学士(食創造科学)	0.86	-	-	令和2	同上				
建築学部	4	85	0	340	-	1.08	1.07	-	令和2	-				
建築学科	4	45	0	180	学士(建築学)	1.16	1.15	-	令和2	兵庫県西宮市戸崎町1番13号				
景観建築学科	4	40	0	160	学士(景観建築学)	0.98	-	-	令和2	同上				
音楽学部	4	50	0	200	-	0.67	-	-	平成21	-				
演奏学科	4	30	0	120	学士(音楽)	0.45	-	-	平成21	兵庫県西宮市池開町6番46号				
応用音楽学科	4	20	0	80	学士(応用音楽)	1.00	-	-	平成21	同上				
薬学部(6年制)	6	105	0	1,050	-	0.76	-	-	平成18	-				
薬学科	6	105	0	1,050	学士(薬学)	0.76	-	-	平成18	兵庫県西宮市九番町11番68号	令和6年度から入学定員変更(210→105)			
薬学部(4年制)	4	60	0	200	-	1.07	1.03	-	平成18	-				
健康生命薬科学科	4	60	0	200	学士(薬科学)	1.07	1.03	-	平成18	兵庫県西宮市九番町11番68号	令和6年度から入学定員変更(40→60)			
環境共生学部	4	120	0	120	-	0.25	-	-	令和7	-				
環境共生学科	4	120	0	120	学士(環境共生学)	0.25	-	-	令和7	兵庫県西宮市九番町11番68号				
看護学部	4	80	0	320	-	1.09	1.08	-	平成27	-				
看護学科	4	80	0	320	学士(看護学)	1.09	1.08	-	平成27	兵庫県西宮市池開町6番46号				
経営学部	4	200	0	800	-	1.07	1.05	-	令和2	-				
経営学科	4	200	0	800	学士(経営学)	1.07	1.05	-	令和2	兵庫県西宮市池開町6番46号				
大学全体	4 6	2,420 105	3年次 110	9,835	-	-	-	-	-	-				

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
  - ・学部/学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。  
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
  - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
  - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。  
詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

## 5 教育研究実施組織の状況

(掲載省略)

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時  (令和6年)	音楽学部演奏学科の収容定員未充足の是正に努めること。  【届出】 遵守事項	入学定員30人に対し、令和7年度の入学者は14人となった。これにより、令和7年5月1日現在の収容定員充足率は0.46倍となり、設置届出時（令和6年5月1日現在）の0.46倍を下回る結果となった。（7）	コロナ禍による就職への不安増大や、ミュージカルや電子機器を使ったオリジナル音楽志向の高まり等が、伝統的なクラシック音楽を学ぶ本学科の収容定員未充足の原因であると分析している。 今後は、総合大学である本学の就職率の高さを積極的に訴求し、就職面での不安解消に努めるとともに、令和8年度に声楽・ミュージカルコースを新設し、クラシック音楽以外の分野に興味のある受験生への訴求を行うことで、改善を目指す。（7）

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。

**【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<環境共生学部 環境共生学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注)・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p><b>【武庫川女子大学FD推進委員会】</b></p> <p>構成員は、全学部学科等から選出された委員(各1人)と教務部長及び学長が委嘱した委員。令和7年度27人。</p> <p>○武庫川女子大学FD推進委員会規程</p> <p>(目的)</p> <p>第1条 武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部の教育理念及び教育目標の実現を目指し、社会に役立つ有為な人材を育成するために、教員の資質向上や、主体的・恒常的に行う授業の内容及び方法の改善に資することを主たる目的とし、大学全体で組織的に教育水準の質的向上を推進するため、学長の下に、武庫川女子大学FD推進委員会(以下「委員会」という。)を設置する。</p> <p>(構成)</p> <p>第2条 委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。</p> <p>(1) 各学科から選出された委員</p> <p>(2) 共通教育部から選出された委員</p> <p>(3) 教務部長</p> <p>(4) 学長が委嘱する委員</p> <p>2 大学と短期大学部を併設する学科の前項第1号委員は、大学の学科により選出された委員をもって充てる。</p> <p>3 委員会に委員長及び副委員長を置く。委員長及び副委員長は、学長が指名する。</p> <p>4 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。欠員を生じた場合は、これを補充しなければならない。補充によって委員となった者の任期は、前任者の残任期間とする。</p> <p>(審議事項)</p> <p>第3条 委員会は、第1条の目的を達成するため、次に掲げる事項を審議する。</p> <p>(1) 授業改善のための基本方針の策定に関する事項</p> <p>(2) 教員の研修会及び講習会の開催に関する事項</p> <p>(3) 教員の教授法及び教授活動の相互研鑽に関する事項</p> <p>(4) FD活動に関する情報の収集と提供に関する事項</p> <p>(5) 各学科の教員へのFD活動の啓発に関する事項</p> <p>(6) 教員の教授活動の支援に関する事項</p> <p>(7) その他、学長の諮問する事項及び委員会が必要と認めた事項</p> <p>(会議)</p> <p>第4条 委員会は、原則として毎月1回会議を開く。</p> <p>2 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。</p> <p>3 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を行う。</p> <p>4 委員長は、必要と認めた場合、委員以外の者を出席させることができる。</p> <p>(庶務)</p> <p>第5条 委員会の庶務は、全学教育センター教育企画全学教育推進課が担当する。</p> <p>(改廃)</p> <p>第6条 この規程の改廃は、委員会の意見を聴いて、学長が決定する。</p> <p>(その他)</p> <p>第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関する必要な事項は、委員会の議を経て委員長が定める。</p> <p>附 則</p> <p>1 この規程は、平成20年1月1日から施行する。</p> <p>2 第2条第3項の規定にかかわらず、委員会設置当初の任期は平成20年1月1日から平成21年3月31日までとする。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は、平成23年4月1日から施行する。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は、平成24年4月1日から施行する。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は、平成26年4月1日から施行する。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は、平成27年4月1日から施行する。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は、平成29年4月1日から施行する。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は、平成31年4月1日から施行する。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は、令和2年4月1日から施行する。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は、令和5年4月1日から施行する。</p> <p>この規程の施行に伴い、「武庫川女子大学短期大学部FD推進委員会規程」(平成22年4月1日規程第2号)は廃止する。</p>
---

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

【武庫川女子大学FD推進委員会】

令和6年度の委員会の開催は5回（4・6・10・12・2月）。

c 委員会の審議事項等

- (1) 授業改善のための基本方針の策定に関する事項
- (2) 教員の研修会及び講習会の開催に関する事項
- (3) 教員の教授法及び教授活動の相互研鑽に関する事項
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供に関する事項
- (5) 各学科の教員へのFD活動の啓発に関する事項
- (6) 教員の教授活動の支援に関する事項
- (7) その他、学長の諮問する事項及び委員会が必要と認めた事項

② 実施状況

a 実施内容

- ア. オンラインを中心とした全学的なFD講演会、勉強会等の企画・実施
- イ. 授業公開及び授業改善奨励制度の企画・実施
- ウ. 各学部・学科におけるFDに関する情報共有
- エ. 新任教員研修

b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ア. オンラインを中心とした全学的なFD講演会、勉強会等の企画・実施
  - ・毎月1回、全教員を対象としたFD講演会（合同教授会）の開催
  - ・各部署との共催企画も複数実施
- イ. 授業公開及び授業改善奨励制度の企画・実施
  - ・前期、後期にそれぞれ期間を設けて授業公開を実施。
  - ・授業改善につながるより良い授業方法の工夫と実践に取り組む教員への奨励制度の企画・運営。
- エ. 各学部・学科におけるFDに関する情報共有
  - ・各学科・専攻におけるFDの取組み状況の調査・報告。
- オ. 新任教員研修
  - ・本学の教育支援システムや、教育方法等の紹介、新任教員の同僚性の構築等を目的としたオンラインと対面のハイブリッド形式での研修を全15回実施。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

上記の実施結果を踏まえ、FD推進委員会の庶務を担う「全学教育センター」が中心となり、教員の授業改善を支援。FD関係の研修会や高等教育に関連する研究会などについて、学内システムを利用して教員に案内し、教員の質向上につながる取り組みを行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期は7月、後期は12月中旬から1月初旬にかけて実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学内の「授業アンケートシステム」に学生が直接入力する方法で実施。前期及び後期とも、授業担当者は授業期間内に、アンケート結果に対して学生に改善点等を含んだフィードバックを行うとともに、その結果はパソコン上でも閲覧可能としている。大学院も原則、全研究科において講義科目を対象に実施。また令和6年度より、全学的観点からの授業アンケート結果を学生にフィードバックしている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
環境共生学科は、幅広い視野・教養・科学的知見に支えられた分析思考力・豊かな経験知・多様な他者との共感力を活用し、地球環境・自然環境問題に関わる諸課題を解決する計画立案力・実践力を備えた人材を養成するという趣旨・目的のもと設置された。  
令和7年5月1日現在の開設1カ月の現状においては、設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・初見を表明する段階にはないが、今年度の入学者は定員の0.25倍という結果であり、定員未充足という課題が挙げられる。入学定員120人に対し延べ304人(2.53倍)という多くの志願者を集めることができたにも関わらず、定員未充足となった結果を受け、次年度は定員充足に向けた適切な学科運営を検討するとともに、教育課程を設置計画通り実施し、学科の趣旨・目的の達成に向けて努めていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期  
・自己点検・評価報告書については、認証評価受審のサイクルに合わせて7年ごとに作成しており、学内の自己点検・評価に関しては、3年ごとに自己点検・評価シートを作成予定である。  
なお、令和3年度報告書は、令和5年3月31日に公表している。

b 公表方法  
・大学ホームページ上に公開(URL: <https://www.mukogawa-u.ac.jp/gakuin/evaluation/hyouka.html>)

③ 認証評価を受ける計画  
・令和11年に評価機関(公益財団法人大学基準協会)の評価を受けるべく、学内で検討中。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和7年度)

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表(予定)時期 [  ・ 公表後2~3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ・ その他( ) ]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。